

We Love HIE
輝く明日を築こう日枝中
令和4年度 創立40周年

のがみがわ

湖南省立日枝中学校学校だより
令和8年(2026年)9月3日

和衷共済(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 西村 信二

2学期のスタートにあたって ～互いを高め合い、一人ひとりが主役となる2学期に～

楽しかった夏休みが明け、いよいよ2学期が始まりました。校内に生徒の皆さんの元気な声が戻り、こうして新しいスタートを迎えられたことを何より嬉しく思います。また、保護者の皆様におかれましては、夏季休業中のご家庭での温かい見守りとご支援に、心より感謝申し上げます。この夏休み中、国内外では激しい自然災害が相次ぎました。千葉県や福井県での集中豪雨、熊本県での地震、そしてネパール・中国での大規模な洪水など、ニュースを見て心を痛めた人も多かったのではないのでしょうか。当たり前の毎日を送れることのありがたさを改めて噛みしめるとともに、被災された方々に思いを寄せ、学校全体でも防災意識や助け合いの心をしっかりと持っていきたいと思っています。

一方で、この夏休みは生徒たちの素晴らしい活躍がたくさん光った期間でもありました。夏季総合体育大会では、ソフトボール部が見事に「県3位」に輝きました!また、水泳や柔道の個人種目でも近畿大会に出場し、堂々と力を発揮してくれました。さらに、少年の主張「私の思い 2026」では、本校の代表生徒が最優秀賞を獲得するという大変素晴らしい功績を残してくれました。目標に向かって努力を重ね、見事な成果を収めた皆さんを、学校全体で心から誇りに思います。さあ、今日から始まる2学期は、1年の中で最も長く、学校生活が大きく動く時期です。10月末には、皆さんが楽しみにしている「体育祭」が予定されています。また生徒会活動では、これまで学校を引っ張ってくれた3年生から1・2年生へとバトンを繋ぐ「生徒会役員選挙」も控えています。これまでの素晴らしい伝統を受け継ぎながら、「先輩たちに負けないぞ!」という強い意気込みを持った、新たな世代の挑戦を楽しみにしています。そして3年生の皆さん。あと半年もすれば、いよいよ受験本番を迎えます。ここからの期間は、一日一日が自分の将来につながる大切な時間です。自分の目指す進路に向かって、本格的な準備とスパートを始めていきましょう。先生たちも保護者の皆様も、全員で皆さんを全力で応援しています。

2学期も、行事や勉強、部活動を通して、生徒一人ひとりが自分らしく輝き、成長できるよう教職員一同サポートしてまいります。保護者の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

2026夏季体育大会・吹奏楽コンクールの結果について 日枝中学校

種目		ブロック大会	県大会
ソフトテニス	男子	団体戦 日枝 1-2 甲南	
	女子	団体戦 日枝 2-1 水口東 日枝 0-2 水口 日枝 57-37 水口東 日枝 26-64 城山 日枝 40-45 甲西	
バスケットボール	男子	石部・日枝・信楽・甲賀 2-8 守山北	
野球		日枝 0-2 甲南中 日枝 2-0 水口中 日枝 0-2 水口東	
ソフトボール		土山・日枝・水口・聖徳 5-1 長浜南 土山・日枝・水口・聖徳 2-9 長浜北 4~8ブロック第2位	土山・日枝・水口・聖徳 14-0 皇子山・打出 土山・日枝・水口・聖徳 3-7 長浜南 土山・日枝・水口・聖徳 8-11 瀬田 県3位
サッカー		日枝 0-1 水口	
剣道		武石脩志 ブロック3位	武石脩志 2回戦進出
水泳		800m自由形 清水愛菜第1位 400m自由形 清水愛菜予選突破	800m自由形 4位 清水愛菜 近畿大会出場 400m自由形 7位 清水愛菜
吹奏楽		朝日吹奏楽コンクール地区予選銀賞	

※学校外のクラブチーム等で出場し、活躍した生徒の紹介(ご報告いただいたもの)

◎バレーボール 高森陽葵 (近畿大会・全国大会出場)

◎柔道 原田桃果 (近畿大会出場)、安達 空 (近畿大会・全国大会出場)

「廊下に時計があったら・・・」 生徒の思いが地域を動かし、学校を変えました

「廊下に時計があったら、もっと時間を意識して行動できるのに。」そんな生徒の何気ない気づきから、一つの学校改善が始まりました。

きっかけとなったのは、生徒会役員選挙です。

「廊下に時計を設置する」という公約を掲げた生徒会役員が、学校生活の中で感じていた課題を全校に訴えました。教室には時計がありますが、廊下や階段、移動教室へ向かう途中では時間を確認しにくく、授業への移動を急いだり、時間に追われたりすることがありました。

公約を実現するため、まず生徒たちが取り組んだのがベルマーク活動です。学習委員会を中心に各クラスで協力を呼びかけ、16,000点を超えるベルマークを集め、自分たちの力で2台の時計を購入しました。しかし、校内で必要と考えた時計は全部で16台。残る14台をどうするかが次の課題となりました。

そこで生徒会は、湖南省下田で創業した地域企業・株式会社ナカザワ様に、自分たちの思いをつづった手紙を届けました。手紙には、学校生活で困っていること、自分たちでベルマークを集めて2台の時計を用意したこと、そして「学校をもっとよくしたい」という思いが込められていました。

その思いに応えてくださった株式会社ナカザワ様から、7月17日、14台の掛け時計を寄贈していただきました。贈呈式は全校集会で行われ、夏休み中に校内の各所に設置されました。また、設置場所についても生徒会のメンバーが企業の方と一緒に校内を回り、「どこからでも見やすいか」「移動中に自然に目に入るか」などを考えながら決めました。

今回の取り組みで大切なのは、時計が14台増えたことだけではありません。「ここがもっとよくなったらいいな」という生徒の気づきが、生徒会の公約となり、自分たちの行動につながり、さらに地域の方々の共感と協力を生み出したことです。株式会社ナカザワ様からは、「自分の思いを言葉にして伝えることには、人を動かす力がある」との言葉もいただきました。

湖南・ナカザワ 時計14台寄贈

日枝中学生徒の「時間意識した行動」支える



壁掛け時計を受け取る生徒会長の盛岡さん（左）と、寄贈した中沢社長（右）が、湖南市日枝中にて。時計は、生徒一人ひとりが、時間意識した行動を支える。中沢社長は、時計の重要性を語り、生徒一人ひとりが、時間意識した行動を支える。中沢社長は、時計の重要性を語り、生徒一人ひとりが、時間意識した行動を支える。

時計の重要性を語り、生徒一人ひとりが、時間意識した行動を支える。中沢社長は、時計の重要性を語り、生徒一人ひとりが、時間意識した行動を支える。中沢社長は、時計の重要性を語り、生徒一人ひとりが、時間意識した行動を支える。

中日新聞（令和8年8月26日掲載）



中澤実任盛社長様と生徒会役員メンバー

8月10日には、株式会社ナカザワ様に対して湖南省からも感謝状が贈られました。生徒の「学校をもっとよくしたい」という思いが、学校だけでなく、地域をも動かす取組へと広がったのです。

この時計を見るたびに、「時間を守る」だけでなく、「自分たちの学校を、自分たちの手でよりよくしていく」という今回の経験を思い出してほしいと思います。これからの日枝中学校が、生徒一人ひとりの「こうしたい」「こうすればもっとよくなる」という思いを大切にし、みんなでよりよい学校をつくっていくことを願っています。

第29回中学生広場「私の思い 2026」県広場 最優秀賞(知事賞)受賞

8月22日、県内の中学生が自分たちの思いや考えを自分の言葉で発表する「第29回中学生広場『私の思い 2026』県広場」が開催され、本校3年生の杉浦彪仁さんが、見事、最優秀賞(知事賞)に輝きました。今年度は、県内24,157名の中学生から応募があり、その中から選ばれた12名が県大会の舞台上で意見作文を発表しました。「社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案」「家庭、学校生活、地域や友だちとの関わり」などについて、自分自身の経験や思いをもとに、次代を担う中学生としての考えを県民に訴える大会です。

杉浦さんが発表した作文のテーマは、身近な家族との関わりを通して、自分自身の心の変化に気づき、これまで支えてくれた家族への感謝を深く考えた経験です。自分の感情をうまくコントロールできず、家族に反発してしまった経験を振り返りながら、当たり前だと思っていた日々の生活の中に、家族の温かな支えがあったことに気づいていきます。そして、その経験から、自分も誰かを支えられる人になりたいという思いへとつながっています。自分自身の弱さや葛藤から目をそらさず、家族への感謝とこれからの生き方について真っすぐに語った発表が高く評価され、今回の最優秀賞につながりました。



愛情

湖南市立日枝中学校 3年 杉浦 彪仁

「自分の感情」か「正しさ」か。この疑問だけがずっと心に残っている。中学校一年の夏からか、素直になれない自分がいた。親に注意されたらムカついてしまう。怒られたら反抗する。親の名前を呼ぶより、スマートフォンのロックを解除するほうが多かったかもしれない。ゴミを捨て忘れた・ゲームに夢中になっていた、夜十一時。

「もういいから、はやく寝なさい。」母の言葉に言い返した。「分かっているって。」その時だけで、またゲーム、そしてついに怒られた。「いい加減ゲームやめろよ。」僕はなぜかすごくムカついた。「だまれよ。」「分かっている。」「もう寝ようとしてた。」と言いながら、勢いよくドアを閉め、ふとんに顔をおさえつけた。自分が悪い。親は何も悪くない。なのに腹がたつ。でも、謝れない。「ごめんなさい」の難しさに頭を抱えながら眠っていた。

なんでなんだ。正しいことができない。自分の感情をコントロールすることができない。物を片付けず、ゴミを散らかし、全部自分が悪いと分かっているけど、ごめんなさいが口から出ない。僕は考えた。疲れているんだ。朝早く起きて学校に行く。部活に打ちこむ。塾に行く。忙しいから、疲れているから、仕方がない。そう思うことにしていた。

またやってしまった。親と喋らず、もう三日。枕に身を寄せ、考える。そういえば、朝起きると、ご飯がある。昨日着ていた服が、綺麗に畳んで置いてある。かばんの中にあるはずの昨日の水筒は、食器と一緒に干してある。放課後家に帰ると、丁寧に並べられている料理、皿。当たり前のように用意されている布団。親の行動が見えてきて、心に沁みる。胸が痛い。座っているだけで回っていた日常を回していたのは自分の努力ではなく親の愛情だった。その事実を受け入れようとしないうちに気持ちがまだ少しあり、また、反発してしまう理由が少し分かってきていたからこそ恥ずかしい。気付いた日のうちに謝ることはできなかった。

数日後、週末が試合であることに気がついた。七時三十分集合、五時解散。つまり、弁当が必要である。未だに謝れていないので作ってもらうことは難しいと思った。僕は、すごく自分都合であることを分かっているが、はじめて謝ろうという決断をすることができた。

「自分勝手に怒って、ごめんなさい。」

うつむきながら発した言葉に、返ってきた声は優しくかった。

「分かってくれてるならそれでいい。」

この母親の言葉に、僕は救われた。夜十時を過ぎ、使えなくなったスマートフォンの画面を見つめながら考える。きっと親は全て、分かっていたのだろう。なぜ理不尽に怒るのか、なぜ譲れないのか、そしてなぜこのタイミングだったのかということも。恥ずかしすぎる。自分の感情で怒り、自分の都合で謝り、そして許してもらえる。もっと苦しむべきではないか。自分でもそう思う。気づいても謝れず明日の自分に任せ、素直になれない自分を恨む。親の寛大さと自分の心の狭さに、天と地ほどの劣等感を感じて涙を落とした。この経験から、「反抗期」の自分を支えてくれた親の気持ちに気づけて、その愛情すらも否定してしまったことに反省し、もっと関わり、もっと考え、今まで支えられてきた分を、次は自分がサポーターとして「助ける」という意識を強く持って生きていきたいと思った。

生徒用コイン式電話を開設しました

今年5月にNTT公衆電話が撤去されて以降、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。このたび、本校管理の生徒用「コイン式電話」の設置工事が完了し、9月2日より運用を開始いたしました。設置場所は職員玄関付近(校舎内)となります。利用時は10円玉または100円玉の硬貨専用となり、テレホンカードは使用できませんのでご注意ください。部活動終わりの送迎連絡や緊急時の連絡手段として、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう活用してまいります。



下田小・水戸小へ！ 夏休みの宿題を助ける中学生サポーター

夏休み期間中、本校の生徒が校区内の小学校を訪れ、小学生の夏休みの宿題や学習活動をお手伝いするサポーターボランティアに参加しました。下田小学校には4名、水戸小学校には10名の生徒が参加し、ドリルや工作などの作業に優しく寄り添いました。頼もしい先輩として丁寧に教えたり、一緒に作品作りに取り組んだりする中で、小学生と温かい交流が生まれました。地域の一員としての自覚と成長を感じられる、有意義な夏のひとときとなりました。



地域の温かいサポートに感謝！ 夏休みの学習支援

夏休み期間中、地域の高校生や大学生等の皆様に講師としてお越しいただき、生徒の夏休みの宿題や学習をサポートしていただきました。各学年の補習や外国籍生徒を対象とした勉強会など、延べ10回程にわたり温かいご指導をいただきました。身近な先輩である学生の皆さんから丁寧に教えてもらい、生徒たちもリラックスした表情で意欲的に課題に取り組んでいました。親身なサポートのおかげで学習への理解が深まり、地域との絆を感じる有意義な時間となりました。



主な行事予定



- 1日(火) 始業式、給食開始
- 3日(木) 秋季新人大会(水泳)
テスト前諸活動停止期間(～11日)
- 4日(金) 第6回前期生徒会委員会
- 10日(木) 第2回定期テスト1日目
- 11日(金) 第2回定期テスト2日目、全校リーダー研修会
- 14日(月) ②③3年1組保育体験、3年教育相談
- 15日(火) ②③3年2組保育体験、3年教育相談
- 16日(水) ②③3年3組保育体験、3年教育相談
- 17日(木) ②③3年4組保育体験
- 18日(金) 3年教育相談
- 25日(金) 全校リーダー研修会
- 26日(土) 第2回英語検定試験(申込者のみ)
- 29日(火) 生成AIパイロット校事業公開授業(給食後下校)
- 30日(水) 3年・特支学級三者懇談会(～10/7)
1・2年教育相談(～10/8)

- 1日(木) 1・2年前期通知表配布
3年・特支学級3者懇談会(～7日)
1・2年教育相談(～7日)
- 8日(木) 3年実力テスト、第3回選挙管理委員会
- 9日(金) 生徒会選挙
- 16日(金) 秋季新人大会(3年・部活未加入の人は自宅学習)
- 17日(土) 秋季新人大会(予備日)
- 19日(月) 3年教育相談、体育祭取組開始(～29日)
- 23日(金) 漢字検定
- 27日(火) ④体育祭リハーサル
- 28日(水) ⑤⑥体育祭前日準備
- 29日(木) 第44回体育祭
- 30日(金) 体育祭予備日
- 11月2日(月) 体育祭予備予備日

「チーム担任制」1学期を終えて

～アンケートから見えてきたこと～

今年度、本校では1年生から「チーム担任制」をスタートしました。

1学期を終え、生徒・保護者・教員を対象にアンケートを実施しました。

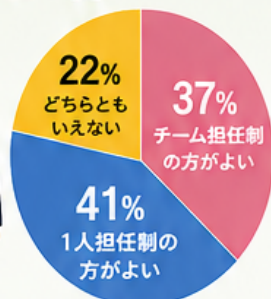
今回は、その結果から見えてきたことを紹介します。



① 1学期を終えて、3者の評価は？

■ チーム担任制の方がよい ■ 1人担任制の方がよい ■ どちらともいえない

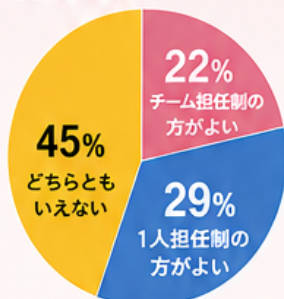
生徒



生徒の声（一部抜粋）

- ・いろいろな先生と関われるのがよい
- ・相談できる先生が増えた
- ・自分に合った先生に相談できる

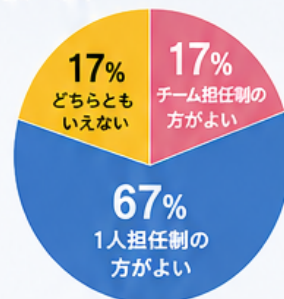
保護者



保護者の声（一部抜粋）

- ・子どもが相談しやすくなったと言っている
- ・先生方がチームで見てくださる安心感がある
- ・もう少し様子を見たい

教員



教員の声（一部抜粋）

- ・生徒の多様な面を見取れる
- ・生徒の相談先が増えるのはよい
- ・まだ、評価するには時期尚早
- ・情報共有に時間がかかり多忙感が増した



生徒・保護者・教員で評価に違いはありますが、相談先が増えたことや、生徒の多様な面を見取れることに意義を感じている声が多く見られました。

② 一番見えてきた成果

「自分に合う先生を選べるようになった」

生徒の声（一部抜粋）

相談したい内容に合わせて、
自分に合う先生を選べる
ようになったと回答した人の割合

生徒

56%

教員

67%



- ・相談できる先生が増えた
- ・自分に合った先生に相談できる
- ・いろいろな先生と関われる
- ・いろいろな視点からアドバイスをもらえる
- ・年の違う先生とも話せてよい

生徒・教員ともに、「相談しやすさ」が高まっていることが分かりました。



③ 1学期で見えてきた課題

① 2週間のローテーションでは短い？

「もっと長く同じ先生に見てもらいたい」という声がありました。



② 情報共有をもっと確実に

「相談したことが次の先生につながっているのか分からない」という不安の声がありました。



③ 教員による指導の違い

「先生によって言うことが違う」と感じる生徒が一部にいました。



④ 2学期はこう改善します



ローテーション期間は2週間で継続し、丁寧に検証します

1学期は学校生活への適応期間（4～5月）や教育実習対応（3週間固定）があったため、実質的に2週間ローテーションを行えたのは3回程度でした。

先進地の事例や「期間が長すぎると特定の学級カラーに偏る・相談しやすさが減る」等の懸念も考慮し、まずは2週間ローテーションの成果と真価を慎重に見極めるため、2学期も当面は「2週間」で継続し丁寧な観察と検証を行います。



共通理解・共通実践を再確認します

学年の教員で指導や対応の方針をそろえ、生徒が安心できる環境をつくります。



情報共有ノートを活用し、ICTも導入します

既に使っている情報共有ノートに加え、Teams等のICTも活用して、情報の共有をより確実にし、引き継ぎの質を高めます。



チームで生徒を支える取組をさらに進めます

教職員が連携して、一人ひとりの生徒を多面的に支えていきます。



アンケートは、チーム担任制の「合格・不合格」を決めるためのものではありません。

子どもたちが「困ったときに相談できる先生がいる」学校を目指して、2学期も取組を進めていきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いします！

